

ナラ枯れへの対策

ナラ枯れ!? ナラ類、シイ・カシ類等の ブナ科の樹幹に、カシノナガキクイムシ（体長4～5mm程度）が穿入し、ナラ菌を木の中に運び込みます。この菌が増殖して通水障害が起こり、葉が枯れる樹木の伝染病です。

千葉県では、2017年に初めてナラ枯れ被害が確認されました。

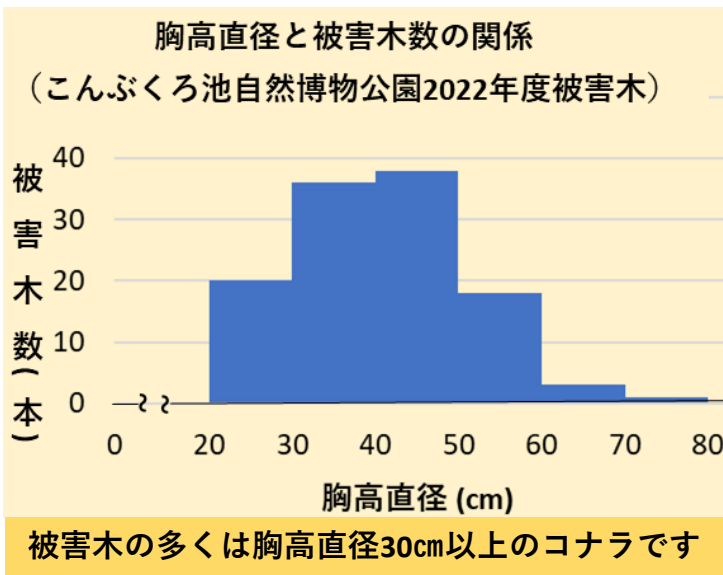
こんぶくろ池自然博物公園のナラ枯れ被害 2020年8月に初めて園内でナラ枯れの被害が認められ、2020年度55本、2021年度43本、2022年度113本の被害木を確認。柏市によって伐採やネット巻き等の対策がとられています。



カシノナガキクイムシの脱出を防止するために巻かれたネット



園路への落枝や倒木の危険があり伐採された木



カシノナガキクイムシ
左：オス 右：メス
メスの背中にある複数の小さな穴（菌嚢）で菌が運ばれる
1mm

写真：森林総合研究所HPから引用

落葉広葉樹を育成中

コナラ、クヌギ、イヌシデ、ホオノキなど

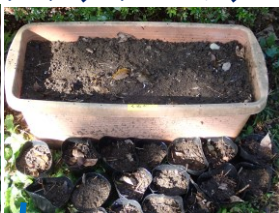


写真：
ナラ枯れ対策マニュアル
日本森林技術協会 から引用

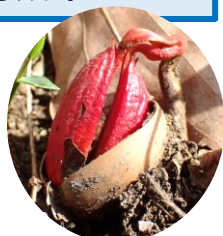
萌芽更新
薪炭林のように
15～30年で伐採



**自生する
幼木の
保護**



園内の
どんぐりを
育成中



園路等に
生えた
幼木を
育成中



育てた幼木を植栽
新芽をウサギにかじられないよう、小枝でガード